

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	企画展事業				開始年度	20年度	
基本目標	芸術文化の振興				終了年度	20年度	
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼	評価者	田中 隆吉
20年度決算	132	千円	21年度予算	401	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,875 千円		21年度人件費	2,913 千円		事業従事者数	0.40 人 0.40 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地としての役割を果たす。
事業の内容	「新作収蔵記念館蔵大作品展、三十六歌仙絵巻展、宮崎県美術協会展、KIWA展、宮崎県立移動美術館」を開催。新規収蔵作品の公開、絵巻物と浮世絵、県内著名作家の絵画・写真・書、世界各国の木版画、県立美術館所蔵の名品など多岐に渡る作品を、町内外を問わず広く県民を対象に紹介。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 観覧料収入	観覧料収入の増加で、企画展開催に係るコストを相殺する。
	3 企画展開催数	魅力ある企画展を定期的に開催する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 関連イベント開催数	展覧会開催に伴う講演会等の開催
	3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	観覧者数	目標値	6,000	5,000	5,000	
		実績値	3,350	4,045		
		達成率	55.8%	80.9%		
	観覧料収入	目標値	円	227,400	227,400	227,400
		実績値		489,610	442,360	
		達成率		215.3%	194.5%	
	企画展開催数	目標値	回	6	5	5
		実績値		6	5	
		達成率		100.0%	100.0%	
活動指標	広報活動数	目標値	12	10	10	
		実績値	10	9		
		達成率	83.3%	90.0%		
	関連イベント開催数	目標値	回	6	5	5
		実績値		2	3	
		達成率		33.3%	60.0%	
	取材依頼数	目標値	回	6	5	5
		実績値		6	5	
		達成率		100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	定期的に企画展を開催して、集客を図る必要がある。町内にギャラリーが1箇所あるが、貸しギャラリーの形態である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	開催期間にもよるが、一企画展で千人以上は訪れてほしい。大々的なCMや新聞広告を行えば観覧者数の大幅な増加を見込めるが、現状は手作りのポスターやチラシで広報不足は否めない。今後は、広報車等の巡回で町内の観覧者を喚起したい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	収蔵品・寄託品、無償で作品を借りて展覧会を開催しており、経費は極力抑えられている。会期を調整することで、若干の経費削減は可能である。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	ボランティア等を募り、監視や説明を行ってもらうことは可能である。

事務事業名	企画展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	企画展事業も年々充実してきているが、三十六歌仙絵巻展が歴史的に高鍋と深い係わりがあり、新たな展開を見せた。KIWA展では、国際的な拡がりを見せたとし、入場者も増加してきている。益々充実させていきたい。	今後の方向性				
			拡充			○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎以前に比べると管理費等がかなり落ちており、本来はその分をいくらか広告費等に充てるのが理想であると思っている。
	コスト	現状維持	